

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	京都市立舞鶴こども療育センター 児童発達支援・放課後等デイサービスひかり		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 6日 ～ 2024年 12月 27日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12名	(回答者数) 12名
○従業者評価実施期間	2024年 11月 6日 ～ 2024年 12月 27日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子さんや保護者への説明、相談体制	<ul style="list-style-type: none"> 送迎時の保護者の皆さまとの共有時間の確保 定期的、又は希望に応じて柔軟に相談体勢を整えています 「ひかり掲示板」を活用しお子さんの様子や親子参観行事での保護者の皆さまからの感想など共有できるよう努めています 	お子さんと保護者の皆さまの想いに寄り添い、関係する機関との共有を深め「輪」でもってお子さんの健やかな育ちの支援に努めます。
2	適切な支援の提供	<ul style="list-style-type: none"> 保護者の皆さま、お子さんとの面談を通じ個別支援計画作成に反映しています。 医療ケアを必要とするお子さんの支援として、ご自宅でされているケアの手技など丁寧に聞き取り可能な限り同じような対応をしています。また、体調の変化や医療受診による指示内容の変更などの情報も共有しています。 保護者支援として、交流目的で親子参観などの行事を計画しお子さんへの関わり方の共有や保護者同士の関わり方の機会を設けています。 	保護者の皆さまよりいただいたご意見を今後の療育活動に反映していきます。また次年度は、身近な人や地域と豊かにつながりあう、様々な出会いや経験を力にかえる、誰一人取り残されない願いを込めて「地域社会とのつながり」をテーマに新たな活動も模索していきます。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	非常時等の対応について保護者との共通理解	毎月の避難訓練等実施についてご案内はしていますが、実施内容の詳細は写真掲示や様子の記載で対応しています。保護者の皆さまの想いや対応についての共有不足が考えられます。	お子さんの特性や災害状況により避難後の事業所での対応も色々なパターンがあることから、療育センターの災害マニュアルに沿ってお子さんの災害時対応について保護者の皆さまへ情報提供、共有できる機会を検討します。
2	ミーティング等の業務時間確保	職員の業務役割などの事情、利用されるお子さんの特色に応じて療育活動が変わります。	職員の業務役割を見直し、共有することで効率的な行動を考えていきます。お子さん一人一人や保護者の皆様へ、より一層丁寧に適切な支援を提供するため職員間のコミュニケーションに努めます。